

こちらう奈良市

東部出張所です

〜未来のために今できること〜

第 29 号

令和元年 8 月 1 日発行

編集・発行
奈良市東部出張所
奈良市大柳生町 4735
TEL 93-0001
FAX 93-0061

南海トラフ巨大地震について

皆さんは南海トラフ巨大地震について「存じでしようか。これは静岡県から宮崎県の太平洋の海底に広がる地震の発生域で、ここで発生する大きな地震のことです。過去90年から150年の間隔で、東日本大震災に匹敵する大きな地震と津波を引き起こしてきました。最近の発生は昭和21年で、すでに70年以上が経過し次が心配されています。

政府の発表では、今から30年以内に地震が発生する確率は70%以上で、平成28年の熊本地震はその確率が0.9%と考えられ、南海トラフ巨大地震は非常に大きな地震で、近い将来発生する可能性が非常に高い地震だということです。

最も大きな危険は巨大津波の発生で、和歌山県で大きな被害が予想されるだけでなく、大阪湾の奥にも侵入し梅田や難波といった繁華街にも津波が押し寄せます。しかも怖いのは津波だけでなく、激しい揺れや大規模な火災も心配で、私たちの東部地域でも大規模な土砂災害が予想されます。この巨大地震は、津波によって大きな被害が出た東日本大震災、地震の揺れで多くの人が亡くなった阪神淡路大震災など、これらの地震災害の全ての要素をもった、複合的な災害になる可能性があります。

東部地域の方が南海トラフ地震、それは関西でも南の話、津波の話と考えるのは危険だということです。「備えあれば憂いなし」日ごろから防災訓練などを通じて、地域の一人ひとりが災害への備えと心構えを、確かなものにしていただきたいと思います。

東部出張所 南浦潔



都祁の農家民宿が

「どぶろく」づくりを開始！

奈良市都祁地域の農家民宿「野の花」を営む吉井さんが2019年6月に酒類製造免許を取得されました！奈良市「どぶろく特区」(※)を活用しての免許取得は「初」となります。

2019年秋には新米を使ったどぶろくが飲めるよう準備されています。お楽しみに！

※どぶろく特区

通常は「濁酒(どぶろく)」を製造する場合、年間の製造見込み数量が6キロリットル以上でない酒類の製造免許が取得できません。

しかし特区認定により認定された特別区域内において、農園レストランなどを営む農業者自らが製造する場合、数量規定の規制が緩和され、6キロリットル未満でも製造免許の取得が可能となりました。

もしご興味のある方がいらっしゃれば、お気軽に東部出張所までお問合せください。



詳細は左記QRコードから



東部地域レポート

東部出張所

職員のコーナー

食糧自給率 国内の食糧消費が、国内の食糧でどの程度賄えているかを示しています。現在の日本の食糧自給率は、2017年度で38%(カロリーベース)となっています。

1位	秋田県	192%	41位	奈良県	15%
2位	北海道	185%	42位	京都府	12%
3位	山形県	139%		と愛知県	

遠方から大量の野菜などを運べば、それだけの手間も経費もかかります。地元の食糧自給率を知ること、地場農産物に関心を持ち、地産地消を考えていく大切な時期ではないでしょうか。東部地域は、農業者の高齢化と有害鳥獣の被害等が原因で、耕作放棄地が増加し地域の景観が損なわれています。

まずは、有害鳥獣を寄せ付けない環境作りとして、見通しの悪い荒地の解消↓隠れ家を無くす。クズ野菜は放置しない、すべて収穫する↓餌場を無くす。次に、有害鳥獣に狙われない作物(辛唐辛子・山椒・わらび・マリーゴールド・ラベンダー等)を栽培することで、耕作放棄地が解消され美しい景観が保持され、少しは食糧自給率も向上します。是非、取組んでみませんか。

東部出張所 上林

※こちらに掲載の情報は編集の都合上、7月12日現在のものになります。

